

金八錢

次所
京城太平通一丁目
京城日報社代理部



袁世凱即位大典籌備處之祭服を着る籌備處總裁内務總長朱啟鈐氏

小女一人金五十錢

あはれ老若水火の責苦しい世の惨状
老外人火大に迫るに救を請はんとす

神戸在住の老外人にして今年五
十餘年前に神戸に渡り、今に至る
まで、神戸に定住し、老若水火の
責苦しい世の惨状を、老外人火大
に迫るに救を請はんとす。

朝鮮の翁草からアネモニン

朝鮮翁草の発見、婦人病の妙薬
婦人病の妙薬として知られるアネモニン、朝鮮の翁草から発見された。

青島陸軍倉庫の爆薬紛失

釜山警察の活動
青島陸軍倉庫の爆薬紛失、釜山警察が活動中。

虎狩外人

鹿五頭を獲す
外人が虎狩を行い、五頭の鹿を獲った。

三人組の窃盗

遊園で大騒ぎ
三人組の窃盗、遊園で大騒ぎ。

老人電車に倒れて死す

十九日午後六時、老人が電車に倒れて死す。

絶大なる致富の捷徑

スワン・ペンに限り

スワン・ペン、絶大なる致富の捷徑。スワン・ペン、スワン・ペン、スワン・ペン。

女按摩金時計

を盗み去る

女按摩金時計、を盗み去る。女按摩金時計、を盗み去る。

新年の贈り物

御贈り物、新年の贈り物。御贈り物、新年の贈り物。

新年の贈り物

御贈り物、新年の贈り物。御贈り物、新年の贈り物。

スワン・ペン

スワン・ペン、スワン・ペン、スワン・ペン。スワン・ペン、スワン・ペン、スワン・ペン。

新年の贈り物

御贈り物、新年の贈り物。御贈り物、新年の贈り物。

新年の贈り物

御贈り物、新年の贈り物。御贈り物、新年の贈り物。

新年の贈り物

御贈り物、新年の贈り物。御贈り物、新年の贈り物。

國の一言

り附き廻りたる者である、然るに其方が其者の頼みを聞き、將軍家へ言上いたし、公儀へ召還へすとあつては、何人も附家老として、陪臣で居るよりも、天下直参になり度ば、皆望む所なれば、今後また小栗の致を遂て、邸ひ出でたる時は、何と致す、彼には許し、是に許さぬと云ふ際には參るまい、左ある時は、東照宮の御眼識以來、漸次附屬いたした附家老が、御公儀御直参と相成つては、美だ以て宜しからぬ、光國斷じて許さぬに依つて、美作に砥石申開けよ、雅ハ、ハア一蘭將軍の御一言將軍家は御病氣にして何事もさうせざるで御坐いますが、一體このいふ大事を、大老が一存に以て計るべき次第でない、將軍家へ言上致す前に御三家へ對し御相談上げ徳川御老に迎へ居らるゝことなれば、御一子十

診療時間
二丁目
ちふふ
電話八九〇二

十二月廿二日九星
舊十一月十六日丁亥
本命六白乾開友引

本町二丁目
電話二六六
有樂

二月十八日より新區
 寶倉エタレ伯母さんの囃し△日活會社東境
 泰西正劇 盡ぬるるにし 全三
 新派活悲劇 閻魔の杵 全三
 伊太利イタリヤ會社大作
 泰西正劇 盡ぬるるに

大露政變後
シベリヤに對する露國の失敗の點

電話五七八

新派美團一行

本座

壽

電話五七八

新派美團一行

本座

電話五七八

新派美團一行

本座

壽

電話五七八

新派美團一行

本座

キナビリンは現代に於ける最新にして最も進歩せる解熱藥なりミ
方の歡迎を受けつゝあり

●キナビリンは、感冒、熱病、頭
●インフルエンザ、リウマチ
●間歇熱（マラリア）等到大効あり

定二包入拾圓五包入廿圓八包入三十圓
價十包入五十圓

大坂堂藥房
高橋盛大堂分
店

新茶等

用品各該の製造遠近男女共自宅蔵
出糶收益頗る多く製品は永年買受
契約し初め原料貸與す今回事業機
の爲三百名限り大特典あり事業明
書はハガキにて申込次第無代進呈

都市二條
大橋東入中川商會貿易部
電話一四五六七電上三四七二

取刊確實

定期米賣買之榮無代進星
前金注文は紹介を要せず
大阪市北區堂島濱通丁星
大坂堂島本町四丁目仲買人
讀高
入江商店
電話東京 二七三六五
二七三六五

中
生
か
き

御小賣共精々大勉強販賣仕候間各
不拘御用命の程肴上候
京城旭町二丁目(不知火旅館角)
うなき味噌漬、焼ハゼ
發賣元 三友商店
(電話一四八〇番)

申分ない

ナイス
志らが漆
はナイス
が第一
ナイス五大特色
僅二十分で染る

發賣 大阪 丹平商會
東京 諸店化粧品店
到處の諸店化粧品店

漆毛

<p>○大連、秦皇島行</p> <p>竹島相 砂礫相 九九九 九九九</p> <p>正月廿七日 正月廿八日 正月廿九日</p> <p>正午出帆 正午出帆 正午出帆</p>	<p>○日本郵船出帆</p> <p>正月廿七日 正月廿八日 正月廿九日</p> <p>正午出帆 正午出帆 正午出帆</p>	<p>朝鮮郵船</p> <p>正月廿七日 正月廿八日 正月廿九日</p> <p>正午出帆 正午出帆 正午出帆</p>	<p>○大連、秦皇島行</p> <p>竹島相 砂礫相 九九九 九九九</p> <p>正月廿七日 正月廿八日 正月廿九日</p> <p>正午出帆 正午出帆 正午出帆</p>	<p>○大連、秦皇島行</p> <p>竹島相 砂礫相 九九九 九九九</p> <p>正月廿七日 正月廿八日 正月廿九日</p> <p>正午出帆 正午出帆 正午出帆</p>
---	---	--	---	---

水師大坂道修町

冬ふ血を増體を肥せ

善則即小西又金術

●示候

植木へは寒肥し

小治五十五支
中治九十支
大治 同五十五支

本場より

食料品雜貨
 清酒 醬油
 海果 實物
 產物 一式

問屋
 岩城
 振寄京機

強壯事
 魂の如く

每日雙町一丁目
 京城旭町八丁目

天兒

溫加
 東亞市日本橋區小傳馬町
 最賣元 寺田淳平
 電話浪花園三合番 換替
 二八〇番 東京 三六六

株式會社
第一
銀行
京城支店

銀行一般の業務は確實と旨と精々御便利に取扱申候
内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

又江長崎縣長
水興丸 每月廿八回 元山發
北久味五里浦行

嘉島丸	十二月一日	釜山
江陵丸	每 日	(釜山)
三浦丸	十二月廿二日	釜山
天津丸	巨濟丸	巨濟丸
營口丸	慶安丸	荷笠山
各港由龜城來者	西本通行	日釜山

江原丸 十二月廿四日 行

平安丸	十二月廿七日	若松雪
五寶丸	十二月廿七日	若松雪
金州丸	每日午前	仁川發
兩陽丸	每日午前	仁川發
麗水丸	十二月廿二日	仁川發
晉州丸	十二月廿二日	仁川發
芝罘丸	十二月廿二日	仁川發
大連丸	十二月廿二日	仁川發
青島丸	十二月廿二日	仁川發

一 陳省 十二月 甲 出 港

第三號
 西曆一千九百零八年十一月八日
 阿波國共同汽船株式會社
 本町丁馬場(八番)
 仁代代理店 山下 四 濱部
 春日町電話七七七
 元山代理店 田口 四 濱部
 大門口電話二六二〇
 喜城屋商店 河村 運送店
 汽船釜山出帆廣告

○元山、西湖、新沚、城津、清津行
第三琴平丸 十二月廿一日後九時出

○門司、宇品、神戶、大坂行
第三樂平丸 一月一日後六時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天眞丸 九月廿九日午時出
九月廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山、神戶、立寄間
本館取扱店 大浦漕問部

支那亡命客演説 在東京
▲支那亡命客の演説 在東京
▲支那亡命客の演説 在東京
▲支那亡命客の演説 在東京

一にも愛情、二にも愛情

親が可愛がり、子も可愛がり、これこそが愛情の根本である。愛情は、親子の間に流れる無言のうちに、心を通じあふ力である。愛情は、子に与える最も貴重な財産である。愛情は、子に与える最も貴重な財産である。愛情は、子に与える最も貴重な財産である。

景気のいい歳の暮

年末の賑わい、お正月の準備、お正月の盆裁。景気のいい歳の暮。年末の賑わい、お正月の準備、お正月の盆裁。景気のいい歳の暮。年末の賑わい、お正月の準備、お正月の盆裁。景気のいい歳の暮。



スケートの季節に入る
船場銀行事件
判決言渡
門口で男と女
お正月の盆裁

お正月の盆裁
お正月の盆裁
お正月の盆裁
お正月の盆裁

高麗人参エキスのスキエス

高麗人参エキスのスキエス。健康と美容のための良薬。高麗人参エキスのスキエス。健康と美容のための良薬。高麗人参エキスのスキエス。健康と美容のための良薬。

新荷物着と年の餅勉強

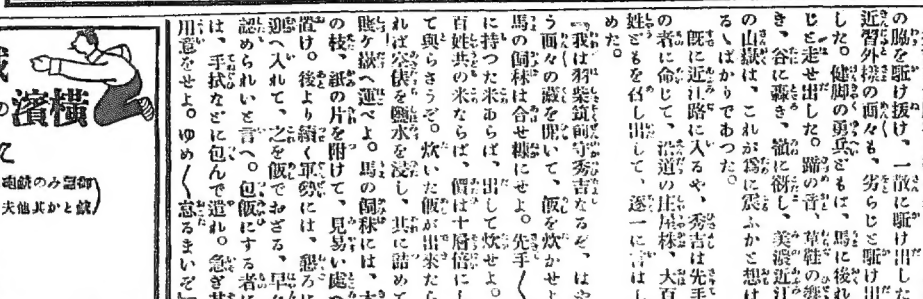
餅勉強。新年の準備。餅勉強。新年の準備。餅勉強。新年の準備。餅勉強。新年の準備。餅勉強。新年の準備。

高麗人参エキスを買い

高麗人参エキスを買い。健康と美容のための良薬。高麗人参エキスを買い。健康と美容のための良薬。高麗人参エキスを買い。健康と美容のための良薬。

藤南翠作


る者はない。念入れて致さうぞ。」
秀吉は馬上より策助を視下した。
吉晴は下より主將を仰視ける。互ひ
の顔子がびたり、合ふて、少時心の
奥を語り合つて居た。
吉晴が一揖して退り去ると、秀吉
は手綱を捌いて、忽ち急進し軍の命
を下した。一萬五千の炬火は、一條
の火龍となつて、近江街道を電の如
く飛ぶ。



純粋
牛乳


太正塚肥醫監主場

西町界込城京
場牧亞東
(常二五社支)



は砲銃
店砲銃丸金
る限

(氣空かトスロスピかと銀價は一ト
星銃部價定にれな込込中入配販)



[illegible]